

人を引き寄せる マグネット(村山市)



「おくら伝説コース」
大倉ため池に纏わる伝説を聞きながら、堤体を歩く。

日本一ちいさなフットパス

村山市東部に位置し、やまがたの棚田 20 選の一つ中沢の棚田がある大倉地域。ここに地域単位で活動する「むらやま大倉フットパス夢クラブ(以下、「夢クラブ」という)」がある。運営開始からわずか2年だが、総勢17名のメンバーがフットパスに賭ける情熱は、どの団体にも負けていない。代表は、街づくり協議会会長の齋藤一雄さんが務めており、旗振り役もこの人だ。

未来への模索

街づくり協議会では、地域内住民の福祉活動等に力を入れてきたが、少子高齢や人口減少の抜本的な改善には繋がらなかった。「このままで大倉に未来はあるか。」と考えた齋藤さんは、外から人を呼び込み、地域内の経済をまわし、大倉地域活性化につなげる活動を模索した。

しかし、自治体等のように観光客を呼び込む新たな観光施設の造成や、道路等の大規模な整備等にかかる予算



むらやま大倉フットパス夢クラブ代表
齋藤一雄さん

も人手も、大倉地域には無い。そんな中で見つけたのが、フットパス。「目立った資源がない」、「人がいない」、「お金がない」そんな場所でもできる地域興しの手法という面白い文句から、平成28年度に夢クラブを結成し、活動をスタートした。現在、「おくら伝説コース」、「甕岳(こしきだけ) 修験と古の精霊たちコース」、「中沢の棚田コース」が設定され、平成29年10月22日からオープンしている。



マスコットキャラクターの「ケットパス君」、コース毎のガイドマップや看板等の作成も夢クラブのメンバーで製作している。



「甌岳修験と古の精霊たちコース」

甌岳にまつわる神仏を参拝しながら、修験の表参道を歩く。

人を引き寄せるマグネット

「何も無い」からスタートした夢クラブ。しかし、齋藤さんの働きかけをきっかけに、カメラやデザイン技術がある人、自然や歴史に詳しい人、中沢の棚田を守る「田んぼボーイズ」、地元の農家レストラン「草木庵」等、様々な人達が集まるようになった。そして、彼らとの関わりによって、地元の伝承や歴史、風景の美しさ、棚田米のおいしさ等、昔からある身近なものがフットパスを魅力的にする宝物であることに気づかされ、現在の運営につながっているようだ。

「地域興しに一番必要なものは、目立った資源でも、人数でも、お金でもない、人とのつながりであり、フットパスは、多才な人を引き寄せるマグネットだ」と齋藤さんは言う。



「甌岳修験と古の精霊たちコース」の動画を公開中。気になる方は、チェック！

「中沢の棚田コース」

やまがたの棚田 20 選の一つ「中沢の棚田」の中を歩く。



◇年4回（5月～11月）むらやま大倉フットパスイベントを開催。個別のご案内も可能（要予約）。

◇問い合わせ先：むらやま大倉フットパス夢クラブ（大倉地域市民センター内）

住所 山形県村山市大字櫛山（たもやま）463-14 Tel・Fax 0237-55-2417

Facebook むらやま大倉フットパス